

## 令和2年度予算編成方針（案）

令和元年9月21日

本部事務局

関西広域連合では、少子高齢・人口減少社会の進展、東京一極集中の加速など厳しい情勢が続く中、分権型社会の構築を目指して、第3期広域計画や関西創生戦略に位置づけた重点事業を着実に推進しています。

関西が有する多様な地域資源や強みを活かして、関西全域で活力を生み出し、成長力を高めていかなければなりません。

令和2年度は、関西広域連合設立10周年を迎えるとともに、第4期広域計画及び次期関西創生戦略のスタートの年となります。現在、「広域行政のあり方検討会」及び「広域計画等フォローアップ委員会」からの提言などを勘案しつつ、第4期広域計画等の策定に向けた検討を進めています。

については、令和2年度当初予算編成に際しては、関西広域連合のこれまでの取組はもとより、第4期広域計画等の策定の議論を十分に注視しつつ、下記の方針に基づき、国の政策動向等にも留意しながら、住民ニーズに的確に応えることのできる予算を要求するようお願いいたします。

### 記

#### 1 第4期広域計画等の検討状況を踏まえた政策立案

有識者などで構成する広域計画等推進委員会における議論はもとより、広域連合委員会における第4期広域計画の検討状況を踏まえ政策立案すること。

また、分野をまたぐ広域課題や分野間連携により相乗効果が期待できる取組については、本部事務局と分野事務局、分野事務局相互の緊密な連携を図ること。

さらに、政府機関等の関西への移転を着実に促進し、関西全域の発展につなげていくため、文化庁の地域文化創生本部、消費者庁の新未来創造戦略本部、総務省統計局の統計データ利活用センター等と連携した取組を積極的に講じること。

加えて、令和2年から参加申込みが開始されるワールドマスターズゲームズ2021関西や2025年大阪・関西万博の開催を見据え、関西の魅力を国内外に発信する観点から、関連事業を積極的に展開すること。

#### 2 地方創生に資する取組の推進

次期関西創生戦略の検討状況を踏まえ、地方創生に資する取組を推進するとともに、自主的・先導的な取組を集中的・緊急的に実施することが適当であると判断した場合は、令和元年度の予算額にとらわれずに所要額を計上すること。

なお、国の地方創生推進交付金等の活用にも努めること。

### 3 広域連合議会等で得られた意見等への対応

広域連合議会での議論や指摘を十分に踏まえるとともに、広域連合協議会、市町村や経済界との意見交換会、定期監査及び決算審査等で得られた意見等については、内容を精査して必要な措置を講ずること。

### 4 「選択と集中」の徹底

関西広域連合として取り組むべき広域課題に的確かつ柔軟に対応することを基本とし、事業の評価・検証等を行い、構成団体との役割分担、受益と負担、費用対効果、適切な事業期間や事業実施箇所等の観点から「選択と集中」を徹底すること。併せて、新規・既存事業の全てにわたり「スクラップ・アンド・ビルド」による事業の効率化、合理化を図り、適切な事業執行に相応しい予算とすること。

### 5 参考（今後のスケジュール）

	連合委員会	本部事務局	各分野事務局	連合議会
9月	21日 予算編成方針説明		予算要求書作成	
10月	31日 予算要求概要説明	集約・計数整理	担当委員府県計数整理 (査定)	
11月	21日 予算要求案説明	集約・計数整理	担当委員調整(査定)	
12月	22日 予算原案決定	連合長調整 ↓ 予算原案作成		
1月		予算原案		11日 総務常任委員会 (主要事業説明)
2月		見込議案		15日 全員協議会 (見込議案説明)
3月		議案		1日 定例会 (議決)